

1. 件名：東海再処理施設安全監視チーム会合への対応に係る面談

2. 日時：令和2年1月27日(月)13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁9階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉主任技術研究調査官、小舞管理官補佐、

堀内安全審査官、内海研開炉係長、佐々木技術参与

技術基盤グループ 核燃料廃棄物研究部門

野島技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

再処理廃止措置技術開発センター ガラス固化部ガラス固化管理課 課長他2名

5. 要旨

○原子力機構から、次回の東海再処理施設安全監視チーム会合の資料案に基づき説明があった。

○原子力規制庁より、以下の内容を伝えた。

(資料1)

- ・本日の説明を聞く限り、別添資料-2 ケース2 全体詳細工程（工程短縮検討中）については、原子力機構の資料にも記載されているが、我々が見ても、まだ工程短縮の余地があると思われるので、引き続き十二分に検討を行い、精査すること。

(その他)

- ・高放射性廃液のガラス固化を12.5年で終了させるとの計画（以下「12.5年計画」という。）については、現在の状況を踏まえて、次回監視チーム会合で説明すること。また、12.5年計画の変更を行う際には、廃止措置計画の変更等の法令手続きについて適切に対応すること。

○原子力機構より、承知した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：ガラス固化技術開発施設（TVF）における固化処理状況について
－漏れ電流発生の今後の対応－